

令和5年度 学校評価（自己評価・学校関係者評価）

加古川市立志方小学校

5:よくできている 4:できている 3:どちらともいえない 2:ややできていない 1:できていない

実践内容	自己評価		改善の方策	学校関係者評価		
	保護者	教職員				
(1) 確かな学力	①家庭とも連携し、基礎基本の定着を図るとともに、個に応じた支援も行うなど、きめ細かな指導がなされている。	3.7	3.8	朝の学習タイムなどを活用し、基礎基本の定着を図る。	今後も継続して取り組んでいただきたい。	5
	②理由や根拠をもち、自分が考えたり判断したりしたことを、自分の言葉で表現し伝えることができている。また、友だちとの話し合いを通して、共通点や相違点に気づけたり、関連付けたりできている。	3.7	3.8	協同的探究学習に取り組み、更に授業改善を図る。教職員自身も主体的に研修に参加するなどして自己研鑽を図る。	授業を参観した際、子どもたちはよく発言できていた。今後も継続して取り組んでいただきたい。	5
	③chromebookなどICTを積極的に活用し、子どもたちが主体的に学習に取り組もうとしている。	3.8	3.9	技術面だけでなく、活用する場面についても吟味しながら効果的な活用方法を考える。また、教職員の研修の充実も図る。	今後も継続して取り組んでいただきたい。	5
(2) 豊かな心	④人権教育や道徳教育の充実を図るとともに、いじめの未然防止、早期発見に努め、人の痛みを思いやることができるよう自分や他の人を大切にしたい教育が推進されている。	3.9	4.3	いじめ防止対策改善プログラムにそって全職員で組織的に取り組む。	今後も継続して取り組んでいただきたい。	5
	⑤「縦割り班活動」や「いいところみつけ」を通して、思いやりの心や自己肯定感が醸成できている。また、自然学校や、環境・福祉などの体験活動を通して、自主的・実践的な力が身につけている。	4.2	4.6	現在の取り組みは継続し、総合的な学習の時間や体験活動の内容の充実を図る。	今後も継続して取り組んでいただきたい。	5
	⑥教室や校舎内外にふさわしい掲示物等が設置され、心が育つ教育環境が整備されている。	4.0	3.8	児童の意欲を喚起するような掲示物を中心に更に教育環境の充実を図る。また校舎内の整理整頓を心がける。	今後も継続して取り組んでいただきたい。	5
(3) 健康な体	⑦遊具遊びや縄跳び等で意欲的に体力づくりに取り組むとともに、運動の楽しさを体得できている。	4.0	4.0	小規模校の利点を生かして児童に運動の機会を十分に与える。	今後も継続して取り組んでいただきたい。	5
	⑧「早寝・早起き・朝ごはん」等の基本的な生活習慣が身につくとともに、スマートフォンやゲームは、使い方のルールを守り、健康的な生活が送られている。	3.5	3.3	学校保健委員会や教育講演会でインターネットについての講演も行ったが参加者が少なかった。保護者にも協力していただきながら、啓発を続ける。	先生方の日頃のご指導に感謝したい。家庭の課題であるので、保護者同士で呼びかけるなど今後も継続した啓発活動が必要。	4
	⑨新型コロナウイルス感染防止対策など、衛生面や安全面に留意して生活しようとする力が身についている。	3.9	3.9	コロナウイルスについては、5類に移行されて変化してきているが、感染症の拡大防止については引き続き、手洗い、換気呼びかけ対応していく。	今後も継続して取り組んでいただきたい。	5
(4) 信頼される学校づくり	⑩コミュニティスクールとして、ユニット内で「あいさつ運動」をはじめ、保・幼・小・中、地域との連携を意識した教育活動が行われている。	4.1	4.4	ユニットの活動状況について情報発信を継続的にを行い、保護者や地域との連携を図る。	挨拶はよくできている。このまま継続していただきたい。	5
	⑪学校だより、二の丸だより、ホームページ、緊急メール等で、家庭や地域に学校の情報が適切に発信されている。	4.3	4.3	児童や学校の様子ができるだけ伝わるように発信していきたい。発信したことについて家族での会話の橋渡しとなるよう努めたい。	学校の様子がよくわかる。今後も継続していただきたい。	5
	⑫新型コロナウイルス感染防止対策をはじめ、児童の病気やケガ、災害や不審者等に対する危機対応が迅速かつ適切に行われており、家庭と連携しながら児童の安全確保が図られている。	4.0	4.3	今後も保護者との連携を密にとって迅速な対応、児童の安全確保に努める。	今後も継続して取り組んでいただきたい。	5
(5) 教師力の向上	⑬Chromebookを使うなど、教科・単元に応じてICTを活用し、思考力・判断力・表現力を育む授業が進められている。	4.0	3.8	児童が達成感を得られる授業を展開するために積極的に研修・活用を推進する。	今後も継続して取り組んでいただきたい。	5
	⑭積極的に授業を公開し、教育効果が上がるよう指導方法の工夫・改善が図られている。	3.9	3.8	小規模校の利点を生かして全職員で児童一人一人を見守っていく。	今後も継続して取り組んでいただきたい。	5
	⑮子供に対する愛情と情熱をもち、児童の内面に寄り添う生徒指導ができており、児童が安心して学校生活を送っている。	4.0	4.2	児童一人一人を大切にするとともに、専門性と人権感覚も高めるため研鑽を積む。	今後も継続して取り組んでいただきたい。	5